



アツい二人によるアツい小諸の話。

小泉市長…2期6年務められた掛川興太郎会頭を引き継ぎ、新たに50代の若い会頭として2022年11月に就任されましたね。塩川会頭には小諸市の教育委員も10年務めていただき、これまでも様々な立場から小諸市を盛り上げ、支えていただきました。新体制となった会議所の皆さんと共に、ご活躍を期待しています。

塩川会頭…ありがとうございます。この度、小諸商工会議所の第二十三代会頭に選任いただきました。大正3年から歴史が続くこの商工会議所ですから、重責を感じています。できる限りまちへ出かけて市内の状況を確認しながら、小諸のために尽力していきたいと思っています。

新規出店、会議所会員が増えるアツい小諸

小泉市長…コロナ禍で各分野、大きな苦しみを味わってきたこの3年間ですが、実は移住されてきた方々を中心として、市内への新規出店は30店舗を越えました。もともと小諸にいらった皆さんも新たな事業に

小諸商工会議所会頭

塩川 秀忠氏

チャレンジされていて、非常に熱気を感じますよね。

塩川会頭…そうですね。「何か新しいことをやりたい!」という会員さんが数多くいます。なにより数字に現れているのが会員数で、ここ数年は減ることはなく、むしろ増えているんです。市役所の皆さんとたくさんの方の支援事業に取り組んできましたから、柔軟な考えをもって熱量のある事業者さんが増えているのは嬉しい限りです!

新型コロナウイルス感染症や物価高騰をはじめとして、事業者・消費者ともに厳しい状況は続いています。今後、会議所として、現場を踏まえた「生きた支援」に取り組めます。

塩川 新会頭 -profile-

小諸市出身。2005年より、株式会社大栄製作所 代表取締役社長。小諸商工会議所では、副会頭を3期9年を務めた。また小諸市教育委員としても10年間、教育行政に携わる(2022年12月退任)。副会頭任期の後半は、「KOMORO FOOD STAGE」、「こもろい一つ」、「お買い物お得クーポン」などを企画・実施し、市内商工業の新型コロナウイルス感染症対策に尽力。



活気もどってきた
まちなか・若者の姿

小泉市長…最近特に目立っているのが、商工会議所青年部のイベントではないでしょうか。若手の皆さんが一致団結して、これまでになく企画に取り組んでいますよね。

市では一昨年より、まちづくりの社会実験として、新たな巡回型公共交通スマートカート「egg」や誰もが主役になれる公園「まちタネひろば」を整備してきました。それらを見事に利用して、まちなかに活気を生み出してくれました！

塩川会頭…小諸の食×職をテーマにした「こもミラ」、戌の満水にちなんだ「小諸八朔燈籠流し」、

小諸市長

小泉 俊博



48基の小諸かるた灯籠が織りなす「秋灯り小諸」など、小諸の風土や歴史を意識した企画を実施されましたね。

青年部だけでなく、青年会議所の皆さんも「小諸をもっと元気に！」という同じ気持ちで取り組まれています。

小泉市長…ソフト面でもハード面でも「若者が、まちなかで活躍できる場」があるというのが、今の小諸市だと思っています。こういった若者の活動がまちを活気づけるんだと、改めて痛感しています。



支援を続け、輪を広げる

塩川会頭…市内の新規出店が増えている理由の一つに、融資や支援金を含めた制度面が充実しており、起業しやすいということが挙げられます。

まちを盛り上げるのは、新たなひとたちだけでなく、新たなひとたちだけでも難しい。その両方を盛り上げるのが会議所の務めだと思っています。

小泉市長…会議所は、融資制度や経営相談などで会員をサポートすることが根本にあると思います。小諸商工会議所は、そういった支援をベースとしながらも、コロナ禍では、より柔軟で新しい施策に取り組まれてきた印象です。



小諸市と小諸商工会議所は、ノウハウとネットワークをもつ日本政策金融公庫と連携協定を結び、市内での移住・起業の支援を行っています。(2022年6月～)

そして、その取り組みは、会員の皆さんだけに留まらず、広く市民にも喜ばれて支持されてきました。感染症対策及び飲食店支援としてスタートされた相生坂公園(相生町)でのテイクアウト企画「KOMOROF OOD STAGE」は、2年半が経過し、すっかり定着しましたね。

塩川会頭…状況にあわせて、開催日や出店者は変わってきましたが、「水曜・金曜のお昼に相生町にいけば、温かくて美味しいテイクアウトが食べられる」と楽しみにしている方は多いですね。



こういった場を利用したことで、人気に火が付いた飲食店もあります。

小泉市長…新たなお客さんも来ていますし、小諸の飲食分野はまだまだ需要がありそうです。事業者の皆さんにはチャンスです。市民の皆さんもこういった新たな場を利用して、小諸の熱さを堪能してほしいですね。

厳しきのなかにも
明るい話題がある

小泉市長…塩川会頭は、「副会頭」として、「小諸市教育委員」として、また、いち「企業人・経営者」として色々な現場に立たれ、様々な小諸の姿を目にしていると思います。

各分野で新たな動きがある小諸市をどう捉えていますか？
塩川会頭…商工会議所には、様々な業種の皆さんが所属していますが、まだまだ厳しい業界もあります。具体的には、コロナ禍の影響が色濃く残り、人手不足や燃料・材料費高騰によって、コロナ以前の売り上げには戻っていない、ということですね。とはいえ、ひとの流れが戻り、そこから新たな経済の動きがでてきているのも事実です。

小泉市長…公共交通の社会実験では、「小諸のまちなかでの利

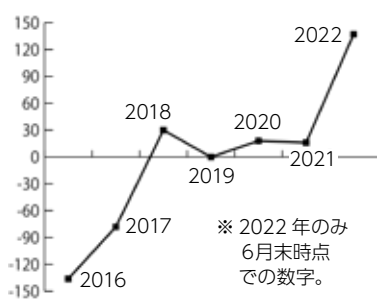
居住地別ランキング (まち巡り便利利用者の統計)

1位	市内	34.6%
2位	東京都	12.0%
3位	佐久市	10.0%
4位	上田市	7.5%
5位	軽井沢町	3.6%
6位	神奈川県	3.2%
7位	群馬県	2.7%
8位	埼玉県	2.5%
9位	長野市	2.3%
	御代田町	2.3%

※ 2022年6月のデータ

用者がどこから来ているのか」という調査も行っています。その結果、市内の方だけでなく、近隣市町村や県外から訪れる方が多いことがわかっています。こだわりの店舗が増え、新たな魅力的なまちとなりつつあるまちなかには週末を中心に、多くの方が訪れています。商工業の皆さんには、この流れを活用してほしいですね。

小諸市人口 社会増減グラフ



転出・転入（移住）に基づいた人口の「社会増減数」においても、この対談時点で、100人以上の増となつています。ここ数年の増加傾向のなかでも、突出した数値です。小諸市の人口減少に、一定の歯止めをかけるところまで来ていて、これも小諸のアツさを表す数字です。
塩川会頭…商工会議所では、半年に一度、売上や業績などを元

に景気動向を調べる「景況調査」というものを実施しています。いま、事務局の皆さんと話をしながら、その調査の内容を、市内景気の良い悪いがよりキツチリ反映されるような中身に変えていくことを検討しています。会頭任期の3年後に、経済がどう良くなったか、どう変わったかが分かるようなカタチにしていきます。

今後の取り組み 市民の皆様へ

塩川会頭…会頭方針では、3つの柱を掲げています。

一つ目は、連携です。市内での連携はもちろんですが、他地域の様々な組織と連携することで、小諸の商工業を発信していきます。二つ目は、DXです。会議所が率先して、デジタル化を進めることで、中小零細の皆さんの参考になる取り組みを進めていきます。三つ目は、教育です。私も10年間、教育委員として色々なことを学ばせていただきました。経済活動に関しても教育は、重要です。キャリア教育や小諸の働く現場を見てもらうことは、地域に根差した子

皆様とともに、より良い一年に！



どもたちを育てることにつながります。地域を支える人材を増やしていくことが、会員や市民の皆さんの利益につながると信じています。

この度、会頭に就任させていただきましたが、それだけで何か劇的に変わるわけではありません。それでも、組織体制を一新し、新たなことをはじめるという空気ができてきました。自分たち会議所にできることはどんなことなのか、会員・市民の皆さんはどんなことを求めているのかを考え、真摯に取り組んでまいります。

小泉市長…コロナ禍・物価高・円安が続く、市民の皆さんにとっても商工業者の皆さんにとっても厳しい状況は続いています。そんななかで、こんなにも情熱をもって取り組む、塩川新会頭が誕生しました。

小諸市も商工会議所と協力しながら、そして市民に皆さんのお力添えをいただきながら、小諸の経済を守っていききたいと思っています。経済を守ることが、生活を守ることです。行政だけでも会議所だけでもなく、小諸市で一丸となって難局を乗り越えていきましょう。

若い世代が出かけたくなる「まち」へ。

おしゃれ田舎プロジェクト



この度、小諸市の市民団体「おしゃれ田舎プロジェクト」の取り組みが第17回マニフェスト大賞において、応募総数 3,133 件のなかから、特別賞（箭内道彦選）を受賞しました。今回は、「おしゃれ田舎プロジェクト」発起人の一人である小林秀行さん（左から2番目）に話をきいた。

小諸駅のまど



彩本堂



活動を始めて最初にオープンした2店舗。2年経ったいまでも、地元や、市外・県外からの来訪者たちに愛されるお店として賑わっている。コロナ禍にオープンした「小諸のこだわりの店」たちは、まちなかに熱を生んでいる。

第10回プラチナ大賞で市の取り組みが優秀賞を受賞

小諸市は「ウエルネスシティ信州小諸」をビジョンとして掲げ、健康分野に限定しないあらゆる分野におけるウエルネス（よりよい健康・健全な状態）を目指しながら、市内外の人々にとってサードプレイス（快適で居心地がよい場所、癒される場所）となることを目指しています。

今回のプラチナ大賞では、全国自治体・企業等 44 件の応募のうち、小諸市は「移住・創業支援、産官学協働などの分野に特化した内容」で最終審査 15 件に選考され、優秀賞（新しい時代のまちづくり賞）を受賞しました。



東洋経済「都市データパック」住みよさ総合順位 33/812

国勢調査、各種統計調査等の結果をもとに全国各市区の人口動態、財政力、経済力等の独自ランキングが、毎年公表されています。

2022年版では、小諸市の総合順位は、全国 812 市区中で 33 位、県内 19 市中で 2 位となっています。

年度	総合	A 安心	B 利便	C 快適	D 富裕
2022	33	147	141	179	298
2021	171	296	137	251	501
2020	84	180	134	246	429
2019	101	145	179	243	535

引用：東洋経済「都市データパック」2022年版

Q…「楽しいまち小諸を目指し活動する有志の団体」で、地域と移住者をつなげる取り組みで注目されている「おしゃれ田舎プロジェクト」。どのように活動が、スタートしたのですか？

A…「小諸を若い世代にとって出かけたくなるまちにしたい」という思いが初めにありました。そのためには、「小諸に住む人たちがもっと小諸を好きになる」「もっと多くの人たちに

楽しいと思ってもらえるまちになる」ことが最も効果的だと考え、新規店舗を増やし、空き店舗解消に向けた支援をはじめました。（2019年10月）

Q…出店や空き店舗解消は、現在どれだけ進んでいますか？

A…関わり方はそれぞれ違いですが、活動を始めてから新たに15店舗以上が、小諸で商いを始めてくれました。

Q…今後の活動は？

空き店舗に困っている皆さんと新規創業者を結びつける取り組みをしてきましたが、現在は小諸で長く商売をされてきた皆さんとも一緒に活動をしています。歴史ある店舗と移住者によるお店をつなげることに取り組み組んでいますが、私たちが間に合っていない部分も、勝手に化学反応が起きています。想像を越える熱量があり、今後の活動が楽しみです（笑）。